

## 厩(うまや)のある家



### ■設計にあたって

シームレスにつながる景色を求めて ~ソフトの提案~

まち中を車で走っていると、駐車場のすぐ脇に玄関ドアのある家を良く見かける。外部空間からすぐに内部空間に入ってしまうシーンの変化は気持ちのゆとりを無くしてしまい、

『外』から『内』への急激な展開はカタストロフィーを招いてしまう。

ふと『外』と『内』の中間領域の豊かさを追求することで、『外』の余韻を楽しみながら段階的に『内』に移動することができるのではないかと考えた。

『外』と『内』の中間領域に様々な仕掛けをすることで徐々にスケールダウンしながらシームレスにシーンが連続していく、ヒエラルキーの増大を試みたい。

### 「厩」様式に見るL型プラン ~ハードの提案~

一方、昔の人たちは移動に馬を頼っていた。現代は文明が発達し、車・電車・飛行機とその手段は飛躍的な変貌をとげている。車とバイクを大事にされるクライアントは車庫のあり方について考えるきっかけとなった。

また計画地の新潟県加茂市は越後の小京都とも言われている。古くから京都との関わりがあった事や、中心街の落ち着いた町並みはその所以である。ここには現代と歴史が溶け合う素地がある。

車庫と歴史の融合。それが計画の羅針盤となった。

現代の車・バイクと昔に利用されていた馬。馬を飼っていた小屋が昔の厩なら車庫は現代版の厩である。

厩の様式であるL型のプラン引用。それが相応しいと考えた。

ここに『外』と『内』をシームレスにつなげる「厩のある家」が誕生した。

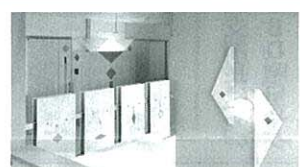
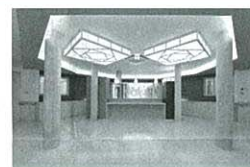
**TAKADA**  
DESIGN IS SIMPLE & SPACE IS FLOWING

株式会社 **高田建築設計事務所**

代表取締役社長 高田清太郎

本社 長岡市摂田屋 5-6-22 電話 0258(36)1230 FAX0258(35)8185  
<http://www.takada-arc.com>

## サポートセンター川崎 ツウイング



### ■設計にあたって

サポートセンター川崎 ツウイング (Twing = Twin + Wing)

- ・ソフト：介護者と被介護者の関係
- ・ハード：心地よい距離感を保つ

散歩しながらふと考えた。

四角四面の世の中は面白くない。

決まりきったことだけでは窮屈だ。

同じ素材でも組み合わせ方を変えたり分解することで面白きタブロー（作品）が出来ることがある。

また視点を変えることだけで見え方や風景が変わってくる。

視座（思座）を変えて視線（思線）を変えれば、嫌なことばかりではなく楽しきことの何と多きことか！

そんな視点（思点）が求められている。

「老人」と言う言葉を肉体的な衰えから使われているとすれば、

経験量や思想的には「豊人」である。

まさに「ツウイング (Twing = Twin + Wing)」である。

「ツウイング」をスウィングさせてみる。同じ四角形でも角度を振るだけで「スクエア」から「ダイヤモンド」になる。特にデザインは人間の視線を通しての感度を高めるもの。

老人を“豊人・ダイヤモンド”になぞらえて、デザインモチーフとし、当サポートセンターの設計を試みたものである。

**TAKADA**  
DESIGN IS SIMPLE & SPACE IS FLOWING

株式会社 **高田建築設計事務所**

代表取締役社長 高田清太郎

本社 長岡市摂田屋 5-6-22 電話 0258(36)1230 FAX0258(35)8185  
<http://www.takada-arc.com>